



# 理容 やまがた

—発行所—  
 山形県理容業  
 環境衛生同業組合  
 〒990 山形市清住町3-2-65  
 電話 0236-45-3525  
 発行者 富樫富太郎  
 編集者 長沼日出夫  
 購読料 1部10円毎月1回発行  
 組合員の購読料は賦課金の中  
 に含まれて居ります。

“57年度から  
 夢を託して58年度へ”

(増刊号) 在野派

交際部  
委員 藤田 隆

理事  
長 藤田 隆

開

57年度  
連続講習会

安孫子  
事務局長 勇退

57年度  
県競技大会

行革反対  
署名運動

東北理容師球大会

第3回  
理容界開権

理容界開権  
全国理容師球大会

理容界開権  
第3回

199号～206号まで

199号より理容やまがた紙面を一新中でも、  
 200号記念特集号の発行と共に、皆々様よりの  
 投稿が紙面の都合上次号へまわす程たくさん戴き  
 広報部としてうれしく思っております。

58年度もより強力な組合発展の為、広報部と  
 しても微力ながら取り組んで皆さまより愛される  
 広報紙を作っていく所存ですので、よろしく御協  
 力お願い致します。



# 趣味について

先日、組合の役員Mさんより原稿の依頼があった。不況のせい、か、努力が足りないのか例年よりは不況である。ひまはあるが考えて書く程の余裕もないので思うままに書いてみたい。

「趣味」は何んだと聞かれても答えようがないのが正直な処、只漠然と生きていたのではなんの意味もない。短歌は金にはならんが心にゆとりが出来る。理容業に首をつっこんで早いもので二十八年余りになる。一句／＼に心があるような、ないような訳の判るのは自分だけみたいだが気晴しになるならそれでいいではないか。短歌とは「雑踏をほらんだ民衆詩の唄なのか」心の中を強く文字に表現して訴えるものなのかは判らないが「焚き火する枯木ひろいに霧が立つこわくはないよと声をかけたたり」

自分のノートの一ページに一句でも多く書きためて、自分の生きる支えになるならそして、自分の楽しみに絵や色紙なども描いてみたいと常々思うような今日だが、昔から趣味のない奴と結婚するな、こういう言葉は良く聞いたものですが

「望み持ち生きんと思ふに  
ある時は生疲れしと  
思ふことあり」

それから数年、妻の父は亡くなった。その時の歌は

「憎まる、ことなく逝きし  
義父なれど義父の淋しさ  
ゆゑなく憶ふ」

金にもならんが金もかからん金をかけてばかりが趣味ではないと私は思います。そしてこれからは自分なりに生きてみたい。人生の師と仰ぐものは私にはないが、自分の趣味からか好きな人物が一人いる。靖国神社の宮司です。その方は

「世の中に足跡つけて  
渡りたる  
良きも悪しきも  
残す手のひら」

私はこの歌がある限り「大地」に足をつけてしっかりと理容業を歩むつもりです。

昭和五十八年が更に良き年であることを祈念し、理容界発展を祈りペンを置きます。

東村山支部 日下部寿夫

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 酒田支部

### 婦人部結成

#### 初顔合せで活発な意見交換、そして

#### 新年会で楽しい

#### かくし芸

酒田支部では、昨年十一月二十九日午後一時より、酒田市総合文化センターにおいて結成式及び総会を開催いたしました。部員数58名そのうち出席者52名という高い出席率のなか、川崎八重婦人部長に役員が決定し、スムーズにスタートを切りました。総会に於ては、一年間の行事を部員の方々から要望をとり、県内各婦人部の行事を参考に原案を作らせていただきました。いざ実行となると何を最初に

やるかが問題になり、頭をなやました結果として一番大切にしたいかなければならないことは、「團結」と「和」ではないかと言うことで、お顔を覚えること、そして触れ合いの場を設けようということになり、第一回は新年会に決定いたしました。

富樫理事長、志田副理事長さんをお迎えし、賑やかにそして華やかに進行され、美しいマダム達はドレスアップをして、昨晩あたりはあ、でもない、こうでもないと言葉合せにずい分と頭をなやまして来たのではないかと思う程、あてやかな姿が目につりました。その日の行事は、第一部「皆さんの意見と要望を聞く会」そして一部「新年宴会」と分け、一部は一時間にわたって活発な意見を交し、今後の婦人部の進む方進を決めるのに大変参考になりました。

第二部、新年宴会に入り、来賓として齊藤辰夫、関口修両県議会議員、佐藤弘市議会議員の諸先生方がおい出下さり温いお祝辞をいただき又、全国組織部長である富樫理事長さんより組織部の概要と今後のあり方等、婦人部に励まし

の言葉をいただき感激を新たにした次第です。宴会もたけなわとなり、歌とおどりで進んでいくうちに、白幡かよ子ひきいる「日本全国酒飲み音頭」でクライマックスに達しチョビヒゲのオッサン、ヒョットコ、オカメ、思い思いの衣裳をつけておどる様は、おかしさとこっけいさで涙を流し、腹がよじれ、二段、三段腹の人は又しわが出来たのではないかと心配する程役員の人々がどうしたら楽しんでいただけるか、相手サイドのことを考えての演技そして努力はみごとと言わざるをえませ

ん。

私達理容業の女性は、主人の面倒、主婦の仕事、子育ての業務と一人二役も三役もこなすハードスケジュールでありながら、その忙しさにもめげず、この様な場所ですばらしい発言、かくし芸等りっぱにこなす部員の方々に希望と可能性を見い出しました。最後にスタートラインに立つまで色々お世話下さいました志田支部長初め役員の方々に感謝いたします。

酒田婦人部 津田 律

# 鶴岡支部

## 合同祈願と

## 新年宴会



鶴岡支部では来る一月二十四日合同祈願と新年宴会を参加者一三〇数名の元に催されました。午後一時より荘内神社社殿に於て、御多幸、御健康、商売繁盛を合同祈願、ひきつづき参集殿に於て新年宴会に入る。田村支部長の挨拶に始まり、来賓(富樫理事長

齊藤鶴岡市長、加藤紘一衆議員代理志田秘書、守谷吉男県議員、和田広弥県議員、富樫鶴岡保健所衛生課長)の方々に祝辞を頂き、富樫理事長の乾杯の音頭で酒宴にうつり、歌におどりと和かな宴会となり本間副支部長の閉会の辞で無事終了。夜は青年部・婦人部主催の新年会が第二公民館で行われ、ムードあふれる二次宴会となり楽しい一日を過ぎ散会、関係者の御苦労に感謝申し上げますと共に御参列下さいました皆様には心からお礼申し上げます。

鶴岡支部 丸山俊郎



# 教育部長会

五十八年二月七日午後一時より、天童温泉ホテル王将に於て、県組合各部の中、重要なポジションの一つである教育部の部長会議が開かれた。五十八年度は、東北競技大会を、山形県山形市ホテル大沼大ホールで開催が決定、同時開催される山形県の競技大会も含め活発な意見交換がなされた。又、連続講習について五十七年度開講の折、受講生より募ったアンケートを元に今後の教育のあり方について多角的に検討された。本間教育部長から全国教育部長会議の報告、多忙な中、富樫理事長、坪倉副理事長も出席され国会陳上の結果報告、教育の課題、免許制度についてもふれ、将来に掛る行革の結果待ち等、長時間にわたりデスカッションが行なわれ閉会した。

尚本年の連続講習の課題は

- 基本カット科
  - アイロン科
  - ユニライト
- と決定。

# 事業部長会

58・2・21 AM 10・30  
於 山形理容会館

# 会議内容

一、理事長あいさつ

(理事長不在のため細谷副理事長代行)

二、森事業部長あいさつ

三、議事録係選出

事業部委員 中村儀七氏

四、議題

1、57年度組事合業部の経過報告

2、事業部収支中間の報告

3、デスカウントセールの実施について

4、今後の販売のあり方について

5、健康食品の販売について

6、総身ステンレス山形理容印の特売について

7、その他

以上の議題に基づき、組合事業部委員の方々と各支部事業部長との討議を重ねた結果58年度は、昨年の継続事業を主として行なう事になるが、特に毎年開催される各支部事業部長会を上半期に行ない、県販売会に対する組合員の認識を高めて頂き、組合運営に対する資本的加価値を高めてこの相乗的效果を果すために画策してゆく事として、組事業部委員齊藤充氏の閉会の辞により

# 経理部長会

り誠に有意議な会議を閉会した。

各支部経理部長さんもの時期、各総会準備のため非常に多忙な時にもかかわらず、ほとんどの支部より出席を願う。去る3月7日県事務所にて経理部長会議が行なわれ、経理部長、理事長の挨拶の後、奥山組合顧問税理士より税務問題についてのお話があり、それについての活発な質疑応答の他、58年度組合予算案と賦課金(全理連会費の値上げの件)についての説明又、集金事務の取扱い(送金の時や領収書の発行について)出資証券の返還手続きについて等々活発な討議がなされた。

